

(4) 第2回企業×交流会

第2回交流会

日時	令和3年11月20日(日) 13:30~15:00																														
会場	Zoomにて																														
テーマ	食品ロスと食に伴うロス																														
担当	総合司会：藤井優希(和歌山大学、4期) メインファシリテーター：長島亘輝(摂南大学、5期生) グループファシリテーター：藤井優希(和歌山大学、4期)、中村美月(武庫川女子大学、6期)、藤原舞人(和歌山大学卒業、1期)、上田ことみ(和歌山大学卒業、1期)、岡橋拓摩(大和大学卒業、3期生)																														
参加者チェックイン	テーマ「あなたが見たことがある、または経験したことがある食品ロスについて教えてください。」																														
ワークショップ「人や社会や地球にやさしい消費行動を考える」	(導入) 日々の生活の中で、食品ロスや食に伴うロスについて目にしたこと、経験したことについて (メインテーマ) たちはどのような行動をすればこれらの問題は解決するのか?																														
	 <p>令和3年度大阪府消費生活センター委託事業「大学生等に対する消費者啓発推進事業」 協賛企業として参加している企業は以下の通りです。また、協賛企業として参加している企業は以下の通りです。また、協賛企業として参加している企業は以下の通りです。</p> <p>大阪府消費者教育学生リーダー会主催 第2回 企業×学生交流会 2021年11月20日(土) 13:30-15:00 Zoomにて開催</p> <p>次 第 第2回テーマ 食品ロスと食に伴うロス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間</th> <th>プログラム</th> <th>司会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 13:30(5)</td> <td>交流会の趣旨説明</td> <td>司会：長島亘輝(摂南大学) 藤井優希(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>2 13:35(2)</td> <td>同僚先生のお話</td> <td>大阪府消費者教育学生リーダー会副代表 藤井優希(和歌山大学)</td> </tr> <tr> <td>3 13:37(5)</td> <td>参加企業のご紹介 (Zoomのチャットでは、企業のご紹介もあり 実演)</td> <td>消費生活関連専門家会議(ACAF)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NCC)4社 日本ヒーブ協議会1社</td> </tr> <tr> <td>4 13:42(5)</td> <td>参加者チェックイン 「食品の廃棄について日々感じていること やあなたが見たこと経験したことのある 食品ロスは何？」</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>5 13:57(10)</td> <td>今日のテーマ趣旨説明</td> <td>ファシリテーター： 大阪府消費者教育学生リーダー会代表 長島亘輝(摂南大学) ACAF西日本支部支部長 神宮宇直 氏 シノバ製菓株式会社 大阪いずみ市民生活協同組合 松浦昭人 氏 協会社団法人消費生活関連専門家会議(ACAF) 会 長(兼)</td> </tr> <tr> <td>6 13:57(13)</td> <td>企業による事例紹介</td> <td></td> </tr> <tr> <td>7 14:30(30)</td> <td>グループワーク</td> <td>全員</td> </tr> <tr> <td>8 14:40(15)</td> <td>全体共有&まとめ</td> <td>各グループ代表者 長島亘輝(摂南大学)</td> </tr> <tr> <td>9 15:00</td> <td>閉会</td> <td>藤井優希(和歌山大学)</td> </tr> </tbody> </table> <p>拡大版は、資料19参照。</p>	時間	プログラム	司会	1 13:30(5)	交流会の趣旨説明	司会：長島亘輝(摂南大学) 藤井優希(和歌山大学)	2 13:35(2)	同僚先生のお話	大阪府消費者教育学生リーダー会副代表 藤井優希(和歌山大学)	3 13:37(5)	参加企業のご紹介 (Zoomのチャットでは、企業のご紹介もあり 実演)	消費生活関連専門家会議(ACAF)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NCC)4社 日本ヒーブ協議会1社	4 13:42(5)	参加者チェックイン 「食品の廃棄について日々感じていること やあなたが見たこと経験したことのある 食品ロスは何？」	全員	5 13:57(10)	今日のテーマ趣旨説明	ファシリテーター： 大阪府消費者教育学生リーダー会代表 長島亘輝(摂南大学) ACAF西日本支部支部長 神宮宇直 氏 シノバ製菓株式会社 大阪いずみ市民生活協同組合 松浦昭人 氏 協会社団法人消費生活関連専門家会議(ACAF) 会 長(兼)	6 13:57(13)	企業による事例紹介		7 14:30(30)	グループワーク	全員	8 14:40(15)	全体共有&まとめ	各グループ代表者 長島亘輝(摂南大学)	9 15:00	閉会	藤井優希(和歌山大学)
時間	プログラム	司会																													
1 13:30(5)	交流会の趣旨説明	司会：長島亘輝(摂南大学) 藤井優希(和歌山大学)																													
2 13:35(2)	同僚先生のお話	大阪府消費者教育学生リーダー会副代表 藤井優希(和歌山大学)																													
3 13:37(5)	参加企業のご紹介 (Zoomのチャットでは、企業のご紹介もあり 実演)	消費生活関連専門家会議(ACAF)8社 日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会(NCC)4社 日本ヒーブ協議会1社																													
4 13:42(5)	参加者チェックイン 「食品の廃棄について日々感じていること やあなたが見たこと経験したことのある 食品ロスは何？」	全員																													
5 13:57(10)	今日のテーマ趣旨説明	ファシリテーター： 大阪府消費者教育学生リーダー会代表 長島亘輝(摂南大学) ACAF西日本支部支部長 神宮宇直 氏 シノバ製菓株式会社 大阪いずみ市民生活協同組合 松浦昭人 氏 協会社団法人消費生活関連専門家会議(ACAF) 会 長(兼)																													
6 13:57(13)	企業による事例紹介																														
7 14:30(30)	グループワーク	全員																													
8 14:40(15)	全体共有&まとめ	各グループ代表者 長島亘輝(摂南大学)																													
9 15:00	閉会	藤井優希(和歌山大学)																													

<参加者数>

種類	参加者数	備考
学生	21人	大阪府講座受講生 4 和歌山大学講座受講生 17

リーダー会	6人	1期生2、3期生1、4期生2、5期生1、(6期生1)
企業	13人	ACAP:ハウス食品(株)、株式会社コンシェルジュ、雪印メグミルク(株)、伊藤ハム米久ホールディングス(株)、パナソニック(株)、大阪いずみ市民生活協同組合、カスタマーケアプラン、一般社団法人大授 NACS:研究会3、西日本支部長 日本ヒーブ協議会:第一生命
大学	1人	和歌山大学1
その他	2人	大阪府消費生活センター1、事務局1
合計	43人	グループ分け7班

<第2回交流会の様子>

0. 事前準備

1時間前

- ・担当者事前ミーティング開始
- ・グループファシリテーターの役割を確認
- ・各自役割の確認
- ・google スライドのアドレスを全員にチャットで案内

20分前

- ・Zoom 会議をオンライン
- ・google スライドで作成した今日の流れの資料を共有する
- ・注意事項のアナウンス時に、google スライドにアクセスして立ち上げておくよう依頼
- ・スライドは、事前の準備についての注意事項を出す
- ・参加者を、事前にグループ分けした人簿に応じてグループ分けしていく（ブレイクアウトセッションにて）
- ・グループ担当は、ホスト役に

10分前

- ・事務局から企業、行政の方へご挨拶と注意点をお伝えする

5分前

- ・マイクをオフ、ビデオをオン
- ・Zoom の表示名を「名前・所属」に変更をお願い
- ・Google スライドへのアクセス方法の確認

1. 開会式

司会 藤井優希（和歌山大学）

まず初めに、司会者からネット上での交流会であることを伝え、協力をお願いした。

2. 交流会の趣旨説明とリーダー会の実績

発表者：藤井優希（リーダー会副代表、和歌山大学）

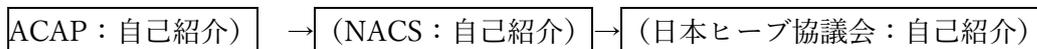
主催者であるリーダー会を代表して、交流会の趣旨説明とリーダー会のこれまでの実績について紹介した。

3. 岡崎先生よりご挨拶

今年度もコロナ禍の中で養成講座を実施し、企業の方にもご協力をいただきながら交流会を開催できたことへの感謝が伝えられた。

4. 企業のご紹介

司会者から、本来であれば、実際に対面することでどんな企業の方が参加されているのかすぐにわかるが、Zoomでの開催となったことから、参加されている企業の顔が見えにくい
ため、企業の参加者の皆様から自己紹介をいただくことになったことが伝えられた。以下の
順番で一言自己紹介をしていただいた。企業からは、自己紹介の後、それぞれの企業紹介を
チャットにて送信いただいた。



5. 参加者チェックイン

司会者から、参加いただいている学生、企業の方全員に、今日のワークショップに参加していることを相互に伝えるために、チェックインの作業をしていただくことを伝えた。
全員、回答をチャットに入力してもらうこと、入力する際には以下のルールに従って、入力
をお願いした。

- ・チャットの対象は「全員」を選択
- ・入力は、氏名・所属・回答の順

お題は、

「あなたが見たことがある、または経験したことがある食品ロスについて教えてください。」

5分後に、入力された内容について、司会者から傾向を伝えた。この時間を設けることで、少しお互いの顔が見えるようになったことを期待していることを伝えた。

6. ワークショップ

今日のテーマは、「食品ロスと食に伴うロス～問題解決への糸口を探る～」についてであることを伝えた。

グループは、こちらで割り当てさせていただいていることを伝えた。
続いて、グループワークを始めるにあたり、いくつか注意事項を伝えた。

- ・途中でグループに分かれて議論する
- ・グループでは、全体の進行をしていただく人、書記、発表者を決める
- ・役割は、学生が担当
- ・グループでの議論終了後に、全体共有として各グループで話し合われた内容を発表
- ・グループごとにスライドを指定し、自分のグループのスライドの色のついたシートに、議論した内容を自由に入力できる。書記だけでなく、グループ全員が入力可能。最後の発表用資料としてもつかうことができるため有効に活用

続いて、テーマについて趣旨説明を行った。

今回、グループワークのテーマは、導入とメインテーマの2つを設定しました。導入の「食品ロスが数年前から言及されている中で総合的に改善はされた？orされていない？」では、企業・学生それぞれの立場から感じることを簡単にグループ内で共有していただきます。その後、メインテーマ「社会にスポットを当てて、食品ロス・食品に伴うロスをなくす改革アイデアを考えよう！」に移り話し合ってください。

まず、このテーマを選んだ理由から説明します。アルバイトの経験がきっかけです。キッチンでパスタを作る際に、盛り付けを間違えた場合、会社のルールでは直ちに破棄しなければいけない。このことが知らず知らずのうちに見についていたのか、家でもパスタを作っている際に、茹ですぎた麺をいつものように捨てようとして、母に「何しているの！」と言われ、はっとしたことがあった。この経験について、バイト先の店長やアルバイトの人に話し、飲食店でのフードロスについて問いかけたところ、「アルバイト一人の声ではシステムは変えられない」「フードロスに取り組むためにはお金が必要となる」と言われてしまった。

今回問題だと気づいた点は3つあります。①食べられるのに捨てる場合の問題で、これは飢餓の問題につながります。②捨てることで生じる環境汚染の問題は、ごみを燃やす際に出る温室効果ガスの問題につながります。③エネルギーの無駄の問題は、生産するときを使うエネルギー問題につながります。

さらに、新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに問題視されはじめた「食に伴うロス」についても考えてみました。感染や密を避ける為に、①バイキングでの感染対策のための手袋が利用されるようになり、それがプラスチックごみの新たな廃棄につながっています。②学校給食やイベントが中止されて食品の取引が減ったことで、大規模な食品ロスが発生するようになりました。

こうしたことを考える中で、「現在、企業に取り組んでいるし「食品ロス」や「食に伴うロス」ってどんなことだろう？」と知りたくなりました。

そこで、グループワークを始める前に、企業が実際に取り組んでいる「食品ロスと食に伴うロス」はどのようなものなのかについて、ご紹介いただきます。

ここから、約10分間の企業様の事例紹介に入った。

今回ご講演いただくのは、ACAPから、ACAP西日本支部長でハウス食品株式会社の神宮字慎様、そして、いずみ市民生活協同組合の松浦昭人様です。では、神宮字様、続いて松浦様、よろしく願いいたします。

ここからグループワークに入るが、改めて先ほどのグループワークの注意点を確認した。

この後、全員が7グループに分かれて議論した。（ブレイクアウトルームを利用）

7. 全体共有

7グループが話し合われた内容について、順次発表を行った。

8. 閉会&アンケート

交流会の閉会宣言をした後、参加者に Web 上にあるアンケートに回答して頂くようお願いして終了した。